



統一地方選

愛知県議会改選



■第18回統一地方選挙始まる！…と言っても統一率？は3割を切っていますが

愛知県知事選は2月に執行されましたが、4月3日告示12日投票で愛知県議会議員選挙、名古屋市議選が執行されました。県議選は20選挙区、30人が無投票当選(鈴木も3期目の議席をお預かりしました)、定数102となった議会構成は自民56人(稲本氏(中川区)神戸氏(一宮市)今井氏(安城市)が無所属から加入、筒井氏(名東区)は無所属に)、民主32人、公明6人、維新2人、共産2人、無所属4人です(17日現在、会派届の締切は27日)。26日投票、後半戦の市議選はあま市10人、津島市8人と新人が多く、一宮市では新人23人を含む53候補が定数2減の38議席を争います。

4減で定数26となる稲沢市議選は9月13日告示20日投票です。

61	56	44	41	37	29	17	14	1
62	54	42	39	36	33	12	6	5
63	60	57	54	42	39	36	33	29

■第6期愛知県高齢者健康福祉計画

今後3年間における、愛知県の高齢者健康福祉政策を進めるに当たっての総合的かつ具体的な指針となる「第6期愛知県高齢者健康福祉計画」が3月末に策定されました。急速に進行する高齢化に備え、団塊の世代の方が75歳以上になる平成37年に向け、在宅医療・介護連携体制の構築や認知症高齢者支援対策を積極的に推進する必要があります。計画では**高齢者の自立と自己実現を地域で支える健康福祉**を基本理念として掲げ、高齢者の誰もが、住み慣れた家庭や地域において生き生きとした生活をして頂けるよう、介護保険サービスの充実はもとより、地域包括ケアシステムの県内全域での構築、並びに、認知症対策に重点的に取り組むこととしています。以下は計画の概要(抜粋)です。

【総論】

1. 基本的な考え方

- ・老人福祉法による老人福祉計画と介護保険法による介護保険事業支援計画を一体として作成
- ・計画期間：平成27年度から29年度までの3年間
- ・基本理念：**高齢者の自立と自己実現を地域で支える健康福祉**・・・人と人の繋がり・支え合いにより、「高齢者が健康で生きがいを持ち、安心して暮らせる社会の実現」に向け施策を展開
- ・基本目標：各論の7項目を基本目標に掲げ、医療、介護、予防、生活支援サービス、住まいが地域において切れ目なく提供される「**地域包括ケアシステム**」の構築に向けた具体的な取組を推進

2. 高齢者の現状と将来推計

- ・平成26年10月の高齢者(65歳以上)人口は約171万人で対23年約20万人、13%の増
- ・高齢化率は23.2%で年々上昇(但し、全国より3ポイント程度低く推移)、老人福祉圏域別(二次医療圏と同様の12圏域、稲沢市は一宮市と尾張西部圏域)では高齢化率MAXが東三河北部34.7%、MINは西三河北部で19.8%、尾張西部は25%
- ・後期高齢者(75歳以上)人口は約76万5千人で対23年約8万人、11.9%の増



●植木まつり開場式で星野副議長、新キャンペーンレディの皆さんと



●久しぶりの好天で賑ういなざわ植木まつり初日



STEP 21 県政 REPORT

2015H27



民主党県議団 **すずき純**

鈴木じゅん事務所 〒492-8229 稲沢市稲島11-24

Tel 24-6600 Fax 23-0791 juneri@na.commufa.jp

1504

●名古屋市議が任期切れのため半数での開催となった名古屋競輪組合議会3月定例会



【各論・・・7つの基本目標】

1. 介護保険サービスの充実

- ・居宅サービスへの多様な事業者の参入促進
 - ・施設サービスの老人福祉圏域ごとの計画的な整備
- ex 訪問介護:26年度実績見込約 726 万回 →29 年度目標約 1,239 万回
 ex 特別養護老人ホーム:26 年度見込 25,480 人→29 年度目標 28,706 人
 同上 尾張西部圏域 :26 年度見込 1,964 人→29 年度目標 2,262 人

県内の市町村等の第1号被保険者の平均保険料(月額)

計画期間	第5期 (24~26年度)	第6期 (27~29年度)	将来推計 平成32年度	将来推計 平成37年度
保険料	4,768円	5,191円	6,402円	7,611円
(差引額)	-	423円	1,211円	1,209円

2. 在宅医療の提供体制の整備

- ・在宅医療サポートセンターを地区医師会に設置
 - ・ICTによる在宅患者情報を共有するシステムの整備
 - ・地域包括ケアシステム構築のためのモデル事業の実施
- ex 地域医療支援病院: 県内 17 か所(尾張西部医療圏は一宮市民と大雄会 2/1 駐)

3. 認知症高齢者支援対策の推進

- ・認知症カフェの促進、認知症ケアパスの普及支援
 - ・病院勤務の医療従事者等へ認知症対応力向上の研修実施
 - ・歯科医師、薬剤師等に対する認知症対応力向上の研修実施
 - ・国立長寿医療研究センターとの連携・協力協定による取組
- ex 認知症サポーターの養成:現状(名古屋市を除く)約 24 万人→約 36 万人

認知症高齢者数の推移(認知症有病率が上昇する場合)

	平成24年 (2012年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)
全国	462万人 15.0%	525万人 16.0%	631万人 18.0%	730万人 20.6%
愛知県	23.7万人	28.6万人	34.3万人	40万人

4. 介護予防(要介護にならないための予防)と生きがい対策の推進

- ・市町村に移行する地域支援事業のために市町村職員研修を実施
- ・あいちシルバーカレッジの定員増と学習内容の充実

5. 生活支援の推進

- ・生活支援コーディネーターの養成
- ・高齢者生活支援(見守り)ネットワークの整備促進

6. 高齢者の生活環境の整備

- ・既存住宅のバリアフリー化の促進
- ・生活支援サービスが付加された高齢者向け賃貸住宅の供給促進

7. 地域包括ケアシステムを支える人材の確保と資質の向上

- ・介護職員の研修、職場体験等による人材の参入促進、福祉人材センターの取組、国との連携強化

介護職員需給推計による不足数

平成29年	5,893人
平成32年	10,225人
平成37年	20,136人



●3日告示日、出陣式での決意表明



●子生和保育園全面改築起工式



●稲沢市消防団任命式



●いなざわ特別支援学校入学式



●防災ボランティア稲沢創立10周年



●PHV 県庁で初充電



●当選証書付与、連合愛知に報告



●ボーイスカウト尾張西地区年次総会

4月24日 区長会
 5月8日 老人クラブ連合会総会
 9日 連合愛知尾張南地協メーデー
 子ども会連絡協議会総会
 16日 愛知県植樹祭

当選直後、快晴の中、**へいわさくら祭り**で皆さんにお祝いの声を掛けて頂き盛大に餅投げに参加させて頂きました。4月からの新入生、新社会人、新天地で活躍する皆さんに負けぬよう、身を引き締め初心に帰って **未来へつづくまちづくり** 一生懸命動きます。ご指導宜しくお願ひします。愛知県議会議員 **鈴木じゅん**